

# 花ちゃん・オー君・モンタ博士のわくわくドキドキ国立てくてく

国立第七小学校 平成26年3月19日 NO.99

## ユーラシア大陸



モンタ博士「♪雪がとけて 川になって 流れて行きます♪」

♪ツクシの子がはずかしげに 顔をだします♪

♪もうすぐ春ですね・・・♪

花ちゃん 「あれ？モンタ博士、ごきげんのようにですね。何という歌ですか。」

モンタ博士「この歌は、モンタ博士の大好きだった『キャンディーズ』の『春一番』という歌だよ。」

オー君 「キャンディーズ？知らないなあ。ところで、モンタ博士、このごろとてもあたたかいですね。『春一番』は、きのうやっとふきましたね。」

モンタ博士「そうだったね。今年はとてもおそい春一番だったね。」

花ちゃん 「モンタ博士、どうして、春一番というんですか。」

モンタ博士「まずね、春一番というのは、立春（りっしゅん）から春分（しゅんぶん）までの間にふく、今年が一番はじめにふくあたたかい南風のことなのさ。」

オー君 「冬は北風で、とても冷たい風だけど、春一番はとてもあたたかい風だよ。」

花ちゃん 「南風って、心まであったかくなる感じですね。」

オー君 「ところで、どうして南風になるんだろう。」

モンタ博士「ふつう、冬型（ふゆがた）のお天気というのは、西高東低（せいこうとうてい）といって、日本の西側（にしがわ）に高気圧（こういあつ）があり、東側（ひがしがわ）に低気圧（ていきあつ）があるんだよ。」

花ちゃん 「それが、春一番になると、どのように変わるんですか。」

モンタ博士「日本の西側、つまり、日本海の低気圧が強まるのさ、そして、あたたかい空気が日本の南から、その低気圧に向かってふきこむんだよ。これが春一番というものさ。」

オー君 「春一番があるんなら、春二番とか、春三番とかもあるの。」

モンタ博士「それはいい質問（しつもん）だね。このころは、一年中で強い風の日が多いのさ。それで、春二番とか三番とかもあるんだよ。」

花ちゃん 「そして、すぐに春になるんですか。」

モンタ博士「ところがそうではないんだよ。低気圧が日本海を通りすぎていくと、寒い冬にぎゃくもどりさ。大陸からの冷たい北西の風がふきこんで、少し寒くなるんだ。このくりかえしで、だんだんと春になっていくんだよ。」

